

令和3年度各部署の重点目標

市では、取り組むべき目標の明確化と効率的な市政運営を行うため、部局ごとに重点目標を設定しています。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を最重要課題といたうえで、各部署の重点目標について可能な限り達成に向けて取り組んでまいります。

今年度から、各部署の重点目標とSDGs（持続可能な開発目標）の関連性を紐付け、未来に向けた持続的な発展を目指すこととしました。

問 行政管理課 ☎23・5163

1 政策企画部

- ① 第一次上田市総合計画（第2期）上田市版総合戦略（の）着実な実現とSDGsの推進
- ② 長野大学の改革促進と学園都市づくりの推進
- ③ 日本遺産、文化芸術やスポーツを生かした魅力ある都市づくりの推進
- ④ サントミューゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進
- ⑤ ポストコロナを見据えたシティプロモーションと市民とつながる広報の推進

2 総務部

- ① 「自助・共助」を主体とした地域防災力の向上と災害対応力の強化
- ② 安全性の強化と利便性の向上を目指した庁舎整備の早期実現
- ③ 市役所業務のスマート化による市民サービスの向上と業務改善
- ④ 第四次行政改革大綱の着実な推進と公共施設等総合管理計画の改訂
- ⑤ 人材の確保・育成と職員が能力を発揮できる職場環境づくり

3 財政部

- ① 新型コロナウイルス感染症対策と将来を見据えた持続可能な財政運営の推進
- ② ウィズコロナ社会での自主財源確保と税負担公平性の実現
- ③ 公平・公正で適正な課税の推進と税情報発信
- ④ 公有財産の適正な管理と活用および遊休財産の処分の推進
- ⑤ 入札制度の緩和の効果検証と見直し

4 市民まちづくり推進部・上田地域自治センター

- ① 地域内分権の確立に向けた地域主体の自治の推進
- ② 参加と協働によるまちづくりの推進
- ③ 移住・定住・交流によるまちづくりの推進
- ④ 多文化共生のまちづくりの推進と外国籍市民の社会参加支援の促進

5 生活環境部

- ① 資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成と取組の推進
- ② 循環型社会の形成に向けたごみの減量・再資源化の推進
- ③ 地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全
- ④ 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進
- ⑤ 市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上

6 福祉部

- ① 生活困窮者の自立に向けた支援の推進
- ② 地域包括ケアシステムの深化と地域福祉の推進に向けた取組
- ③ 共生社会の実現を目指した障がい者支援の充実
- ④ 社会福祉施設の今後の方向性の検討

7 健康こども未来部

- ① 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための迅速・適切な対応
- ② 子どもを産み、育てる喜びが実感できるまちづくりの推進
- ③ 「一人ひとりが健康で幸福なまち健康都市の実現」に向けた各種健康施策の展開
- ④ 幼児教育・保育のニーズに配慮する子育て支援の推進
- ⑤ 救急医療体制の整備と医師の確保による地域医療体制の充実
- ⑥ 医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営
- ⑦ 安全で安心な周産期医療提供体制の確保と市立産婦人科病院のあり方への方針策定
- ⑧ 多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援施策の充実

8 商工観光部

- ① ウィズコロナ・アフターコロナにおける事業者支援
- ② 地方創生に向けた地域産業の活性化と先端技術の導入促進
- ③ 地域雇用情勢に応じた施策の展開と就業支援
- ④ 上田の卓越性を生かす企業誘致・留置の推進と創業支援
- ⑤ 「観光地・上田」の魅力発信と誘客促進
- ⑥ 中心市街地の活性化と賑わいと活力ある商業の推進



8 信州上田地域合同就活フェア



7 4月に開園したまるこ保育園



6 手話奉仕員養成講座



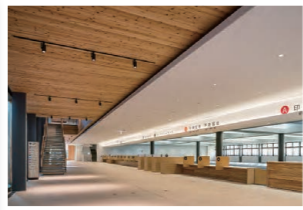
5 駅前防犯パトロール出発式



4 住民主体の環境美化活動（押出川）



3 納税標語の表彰（依田窪南部中）



2 新本庁舎1階フロア



1 日本遺産認定記念シンポジウム

9 農林部

- ① 「人・農地プラン」の実践による農地利用集積の推進と多様な担い手確保
- ② 農をつないで地域活性化
- ③ 農業の体制強化に向けた施策
- ④ （防災減災対策・施設長寿命化・多面的機能の推進）豊かな森林（もり）の環境整備と地域資源の活用
- ⑤ 鳥獣等による被害の防除と資源活用

10 都市建設部

- ① 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進
- ② 安全・安心な都市環境の整備と防災・減災の推進
- ③ 「乗って残す」「乗って生かす」を基本とした公共交通活性化の推進
- ④ 快適で持続可能な拠点集約型のまちづくり
- ⑤ 緑豊かな健康都市空間の創出

11 消防部

- ① 消防団体制の充実・強化
- ② 市民への防火対策の推進および応急手当の普及推進
- ③ 常備消防力の充実・強化および広域連携訓練の実施

12 丸子地域自治センター

- ① 人と環境に優しい安全・安心なまちづくりの推進
- ② 産業が育つ地域づくり・地域の特性を活かしたワイン産業振興
- ③ 住民自治組織やパートナーシップによる参加と協働のまちづくり
- ④ 現代のライフスタイルにあった丸子温泉郷の振興

13 真田地域自治センター

- ① スポーツ合宿のメッカ「菅平高原」の誘客促進
- ② 市民が主役「心豊かな協働のまちづくり」の推進

14 武石地域自治センター

- ① 一人ひとりが「健康な真田地域の福祉施設のあり方」の方向づけ
- ② 東日本台風被災箇所への復旧の推進
- ③ 参加と協働による地域づくりの推進
- ④ まちづくり活動拠点の整備と地域に根ざした医療の充実
- ⑤ 多彩な地域資源を生かした観光の振興、活力ある農業の推進および道路交通環境の整備

15 会計管理者組織

- ① 収納業務の効率化の推進と適正な公金管理の取組
- ② 財務・会計事務の適正化と事務能力の向上

16 上下水道局

- ① 持続可能な事業運営の推進
- ② きれいで安全な水を供給する上下水道事業の推進
- ③ 上下水道施設の計画的な維持・更新
- ④ 下水道施設の計画的な維持・更新
- ⑤ 危機管理体制の充実

17 教育委員会事務局

- ① 「上田市教育支援プラン」の推進
- ② 安全・安心な教育環境の整備
- ③ 文化遺産の保存・継承・活用
- ④ 生涯学習の推進と学習環境の整備
- ⑤ 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



17 1人1台端末を活用した授業



16 上下水道幹線管路更新事業



14 武石地域総合センター開所



13 ラグビー合宿の聖地「菅平高原」



12 丸子ワイナリーと地域の共生



11 消防署・消防団合同訓練



10 別所線全線開通セレモニー



9 稲倉の棚田 稲刈り

環境月間

6月は
かんきょうげっかん
です

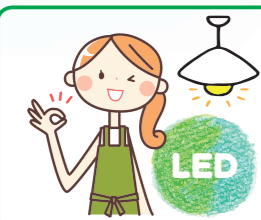
「環境月間」をきっかけに、私たちの身近にできる取組を実践しましょう



未来のために、いま選ぼう。

温室効果ガスの排出量削減に貢献する製品への買い替えなど、地球温暖化対策のためにできる「賢い選択」(COOL CHOICE)を推進しています。まずは、普段の暮らしの中でできることから始めてみませんか。

【身近な省エネ行動の例】



電球型LEDランプに取り替える。



冷房の設定温度は28°Cを目安にする。



冷蔵庫に物を詰め込みすぎない。



シャワーを流したままにしない。



エコドライブを実践する。
(ふんわりアクセル、アイドリングストップ)

再生可能エネルギーの導入(緩和策)や地球温暖化の影響への備え(適応策)を検討してみませんか。

市では、地球温暖化対策の一環として地球温暖化対策設備(太陽光・太陽熱・蓄電システム)の設置および雨水貯留施設(屋根の雨水を貯留させる構造を持つ施設)の設置に補助金を交付しています。詳しくは市ホームページか、固まで問い合わせください。



上田市地球温暖化対策設備設置費補助制度(緩和策)

対象システム		補助金額	
住宅用太陽光発電システム		1 kWあたり15,000円 (限度額:90,000円)	
事業用太陽光発電システム		1 kWあたり15,000円 (限度額:150,000円)	
太陽熱利用システム	自然循環型	設置費用の10分の1	限度額:15,000円
	強制循環型		限度額:50,000円
定置型蓄電システム		設置費用の10分の1	限度額:60,000円

ホームページ



雨水貯留施設設置費補助金制度

貯留施設1基の容量	補助金額
100リットル以上 500リットル未満	購入経費の2分の1(限度額:30,000円)
500リットル以上	購入経費の2分の1(限度額:50,000円)

ホームページ



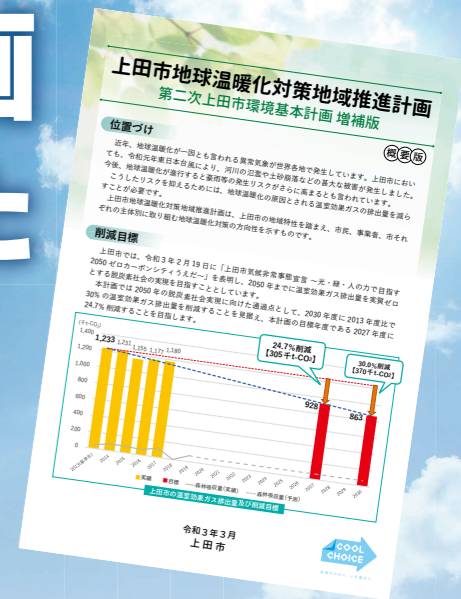
固 生活環境課 ☎71-6428

上田市地球温暖化対策地域推進計画を策定しました

市は、令和3年3月に「上田市地球温暖化対策地域推進計画」を策定しました。本計画では、2030年度までに温室効果ガス排出量30%削減(2013年度比)を見据えた目標を設定しました。市民・事業者の皆さんと一丸となって、2050ゼロカーボンシティうだの実現を目指します。

問 生活環境課 ☎71-6428

ホームページ



持続可能な未来のために、今できることから始めましょう

地球温暖化対策には、温室効果ガスの排出を減らす「緩和策」、地球温暖化による影響に備える「適応策」があります。

緩和策

温室効果ガスの排出を減らしましょう

再生可能エネルギーの導入

- 太陽光発電システムや薪ストーブなど

省エネルギー対策

- 公共交通の利用
- 電気自動車などの導入
- 建物の断熱改修や省エネ設備の導入

地域環境の整備・改善

- 森林整備・木材の積極的利用
- 住宅などにおける緑化の推進

循環型社会の形成

- ごみの減量・再資源化
- 食品ロスの削減

適応策

地球温暖化による影響に備えましょう

節水や雨水利用などの工夫で湯水に備える

こまめな水分補給やエアコンの適切な使用で熱中症に備える

つなぐ家ハートフルガーデン オープンイベント

4月24日(土)

武石地域の住民有志でつくる「武石風土つなぎ隊」が、空店舗をリフォームした「つなぐ家」を拠点にイベントを行いました。

家庭で使わなくなった雑貨・古着などを持ち寄り、おしゃべりしながら販売する「もったいない市」のほかに、さまざまなワークショップが開かれました。

参加者は、果物・動物のスタンプを押してのオリジナルトートバックづくりや、プレスレット・キーホルダーづくりを通して、ふれあいを楽しんでいました。



新たな地域のブランド

4月28日(水)

戸沢酒米作りプロジェクトが市長に事業報告



真田地域の戸沢地区では、平成30年からわがまち魅力アップ応援事業により、休耕田を活用した酒米づくりが始まりました。米はお酒、稲わらなどは地域の伝統行事「戸沢のねじ」に使用し、稲を余すところなく活用しています。

今回は地域の酒蔵と協力した純米吟醸酒が完成。市長からは「地域の価値向上となる素晴らしい取り組みで、ラベルもいいですね」との言葉がありました。この純米吟醸酒は県外からの注文が多く、新たな地域ブランドとして一役買おうです。



5月26日(水) 撮影

丸子地域の中心部と東内・西内方面を結ぶ県道荻窪丸子線にある内村橋は、令和元年東日本台風で内村川の洪水被害を受け、全面的に新しい橋に架け直す工事が進められています。

新しい内村橋は橋脚がなく、大雨が降っても流されにくい安全な橋となります。19日は、工場で製作した7トンの鋼製橋桁をクレーンで吊り上げ、繋げていく工事が行われました。

11月末の開通を目指し、工事は順調に進んでいます。一日も早い内村橋の開通を多くの方が心待ちにしています。

待望の内村橋開通に向けて 橋桁の架設工事

5月19日(水)



みんなで協力して花を咲かそう♪ ガラスアートワークショップ

4月29日(木・祝)

上田市立美術館コレクション「春景」展のガラスアートワークショップ「花を咲かそう」が開かれました。

みんなで春景展の作品を鑑賞してから、大きな窓ガラスに描かれた木の枝に、スポンジや、時には手のひらも使って、思い思いに花びらや葉っぱを描き込みました。

参加者は「窓ガラスに絵を描ける機会はなかなかなくて、子どもよりも親のほうが熱中しました」と話していました。

全員で協力して、カラフルで素敵な花を咲かせることができました。



限界のその先へ

第7回太郎山登山競走

5月3日(月・祝)

太郎山登山競走が3日・4日に行われました。3日はスタート地点の大星神社から太郎山の頂上まで駆け上がり、タイムを競うパーティカルレース。コースは2つ、真田幸村コース(距離3.7km、標高差700m)と猿飛佐助コース(距離5.0km、標高差1,000m)。

参加者は小学校低学年から70代まで幅広く、傾斜のきつい山道を息も絶え絶えになりながらも、ゴールを目指していました。参加者は、「来年も参加したい」、「頂上から見える景色が最高」などと話されました。

- 真田幸村コースの最速タイムは27分53秒
- 猿飛佐助コースの最速タイムは42分02秒



一流の能楽師による幽玄の世界を、心ゆくまでお楽しみください。

第24回 上田城跡能



●日時 8月28日(土) 13:30~15:40
(開場 12:30)
(能楽講座 13:00~13:20)

●場所 サントミュージゼ大ホール

●演目/出演

狂言 「**棒縛り**」 / 善竹 十郎 (大蔵流)
能 「**田村**」 / 宝生 和英 (宝生流)



- 定員 634名 (新型コロナウイルス感染症対策のため、最大座席数の50%に制限します)
- 料金 S席3,500円、A席3,000円、B席2,500円(全席指定)
- 申込 7月7日(水) 10:00以降、次の販売場所で。
- 販売場所 交流文化スポーツ課(本庁舎4階)、サントミュージゼ(Web・窓口)、上田文化会館、丸子文化会館、真田中央公民館
- その他 本公演の前に、観覧者向けに能楽講座を開催しますので、お気軽にご参加ください。



能面展示

市指定文化財「濱村家能面コレクション」のうち、本公演で使用する能面と同じ種類の面を中心に展示します。

●期間 8月1日(日)~31日(火) 8:30~17:00
(入館 16:30まで)
※休館日4日(水)・10日(火)・25日(水)

●場所 市立博物館

●料金 300円(高校・大学生200円、小・中学生100円、障がい者およびその介助者は無料。団体割引あり)
第24回上田城跡能鑑賞券を提示の方は無料。

講座 能「田村」入門編

本公演で上演される能「田村」の見どころを解説します。

●日時 8月7日(土) 10:00~12:00(開場 9:30)
●場所 中央公民館
●定員 先着50名
●申込 7月1日(水)以降、参加希望者全員分の住所・氏名・電話番号を、電話で。

問 上田新能を観る会事務局(交流文化スポーツ課内) ☎75・2005(平日 8:30~17:15)

市の人口(令和3年5月1日現在)
人口:155,047人 男:75,949人 女:79,098人 世帯数:68,508世帯



編集・発行 上田市
〒386-8601長野県上田市大手1-11-16
☎0268-22-4100 ☎0268-22-4131 ✉uedapr@city.ueda.nagano.jp

令和3(2021)年6月号(毎月16日発行)



アプリを通じて、市のお知らせをスマートフォンやタブレットからご覧いただけます。



この印刷物はグリーン購入法の基準を満たす紙と植物油インキを使用しています。